



📺 入場料金 前売・当日とも

上映作品 **01** メッセージ **1,500円**

上映作品 **02** レ・ミゼラブル **500円**

上映作品 **03** カネコアヤノ Zeppワンマンショー2021 **2,500円**

上映作品 **04** 鷺島湖の夜 **1,500円**

上映作品 **05** 典座—TENZO— **1,500円**

富田克也監督
トーク付

※税込・全席指定。
※前売券完売の際は当日券の販売はございません。

**🎫 プラザメンバーズ
先行発売**

2021年
7月30日(金)
10:00より

📱 Web会員限定

札幌市民交流プラザメンバーズサイト
📄 <https://sapporo-cp-members.jp/>

📱 DM会員限定 ※会員カードをご用意ください
市民交流プラザチケットセンター窓口
(市民交流プラザ2F/10:00~19:00 休館日を除く)
道新プレイガイド
☎ 0570-00-3871
(道新本社1F/10:00~17:00 日曜定休)

🎫 一般発売

2021年
8月6日(金)
10:00より

札幌市民交流プラザメンバーズサイト
📄 <https://sapporo-cp-members.jp/>

市民交流プラザチケットセンター窓口
(市民交流プラザ2F/10:00~19:00 休館日を除く)
道新プレイガイド
☎ 0570-00-3871
(道新本社1F/10:00~17:00 日曜定休)

※プラザメンバーズ先行発売で売り切れた場合は、一般発売はございません。
※ご購入方法により手数料がかかる場合や、お座席をお選びいただけない場合がございます。詳しくはお買い求め店舗へお問い合わせください。
※車椅子席ご希望の方は道新プレイガイドへお問い合わせください。
TEL:0570-00-3871
※ご来館いただく際は、施設からのお願い事項へのご協力をお願いします。
※未就学児入場不可。



ご来場の皆様へ
ご協力のお願いと
注意事項

札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー

ニトリ、アイングループ、イオン北海道、CO・OP共済、札幌田中病院、TAIYO GROUP、富士メガネ、
札幌丸井三越、北央病院、北星学園大学、北海道コカ・コーラボトリング、北海道新聞社、ホテルモントレグループ、練成会グループ

あいプラン、MORIHICO.、アミノアップ、伊藤組土建、岩倉建設、岩田地崎建設、大通り矯正歯科、札幌駅前通まちづくり会社、札幌大通まちづくり会社、札幌市交通局、札幌都市開発公社、サッポロホールディングス、ANAクラウンプラザホテル札幌、札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル、ジェイ・アール北海道バス、じょうてつ、ANA、大和証券、日本航空、福山倉庫、北海道エアシステム、北海道科学大学、北海道中央バス、北海道テレビ放送、丸彦渡辺建設、萬田記念財団、三井不動産リアルティ札幌、よつ葉乳業、Life&Ceremony、北海道ガス、會澤高圧コンクリート、旭イノボックス、SOC、遠藤興産、三精テクノロジー、大成建設、大丸札幌店、トーヨーエンジニアリング、日建設計、北海道グリーンメンテナンス、豊建商、氏家記念こどもクリニック、クリーンアップ、ホクリョウ、北海道銀行、朝日新聞社、アムテック、アルシス、岩本・佐藤法律事務所、ウエス、エイト設計、片桐企業グループ、TAT札幌、弁護士法人北空、KDDIエボルバ、さくら総合会計、札幌商工会議所、札幌スパインクリニック、札幌デンタルケア、さっぽろ内科・リウマチ膠原病クリニック、ジャパンテックニカルソフトウェア、庄内こどもの歯科、蘇春堂形成外科、タイムズ24、みよしの、さっぽろ東急百貨店、内科丹田クリニック、博愛会、福住泌尿器科クリニック、北海道熱供給公社、北海道マツダ、マウントアライブ、みにたに胃腸内科、南一条脳内科、明治安田生命、元町皮ふ科、山二、吉田記念病院、六書堂、和らいふ、北海道放送、札幌テレビ放送、北海道文化放送、テレビ北海道

クリエイティブスタジオ (札幌市民交流プラザ3F)

〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目 📍 札幌市営地下鉄大通駅 30番出口から西2丁目地下歩道より直結

📄 チケットに関するお問い合わせ

(道新プレイガイド)
☎ 0570-00-3871 (10:00~17:00日曜定休)

📍 その他のお問い合わせ

(札幌市民交流プラザ) 劇場事業課
☎ 011-271-1950 (9:00~17:00休館日を除く)

札幌市民交流プラザ
SAPPORO COMMUNITY PLAZA

札幌爆音映画祭
2021

S A P P O R O
BAKUON FILM FESTIVAL 2021



**爆音
映画祭**
BAKUON FILM FESTIVAL



© 2016 Xenolingustics, LLC. All Rights Reserved.



File © 2012 Universal Studios. ALL RIGHTS RESERVED. Artwork © 2013 Universal Studios. ALL RIGHTS RESERVED.



© 1994 Co., Ltd. All Rights Reserved.



© 2015 HE LI CHEN GUANG INTERNATIONAL CULTURE MEDIA CO., LTD. GREEN RAY FILMS (SHANGHAI) CO., LTD.



© 空旗

メッセージ

レ・ミゼラブル

カネコアヤノ Zeppワンマンショー2021

鷺島湖の夜

典座—TENZO—

2021.10.1 **FRI** ▶ **3 SUN**

札幌市民交流プラザ
SAPPORO COMMUNITY PLAZA
クリエイティブスタジオ (札幌市民交流プラザ3F)
CREATIVE STUDIO

(((SAPPORO))) BAKUON FILM FESTIVAL 2021

爆音
映画祭
BAKUON FILM FESTIVAL

音楽ライブ用音響機材を使用し、大胆かつ繊細な大音響で映画を体感することにより、これまでにない体験を創造する上映イベント、爆音映画祭。樋口泰人（映画・音楽評論家、爆音上映プロデューサー）氏が2004年に開始して以来、日本全国で人気を博しています。3回目となる今回は開催期間を拡大し、傑作SFやミュージカルはもちろん、新奇性に満ちた現代中国の作品から、コロナ禍での無観客ライブ、東日本大震災後の日本のすがたを問う作品まで、いまを反映したセレクションとなりました。クリエイティブスタジオ向けに1作品ごとに「音」を創り出す。ここだけの唯一無二の上映をお届けします。

10.1
FRI

TIME TABLE

18:40 開場
19:00 上映開始
21:00 上映終了



© 2016 Xenolinguistics, LLC.
All Rights Reserved.

上映作品 01 メッセージ

アカデミー賞音響編集賞受賞！
観る者の感覚を進化させる、異色のSF感動作。

突如地上に降り立った巨大な宇宙船。謎の知的生命体と意思の疎通を図るため、言語学者のルイーズは物理学者のイアンと共に、「彼ら」が人類に何を伝えようとしているのかを探っていくのだが…。『DUNE/デューン 砂の惑星』の公開を控えるドゥニ・ヴィルヌーヴ監督による、アカデミー賞主要8部門にノミネートされたSF感動作。ゴールデングローブ賞受賞作曲家であり、2018年に急逝した鬼才ヨハン・ヨハンソンの音が、研ぎ澄まされた音響で感覚を刺激します。

監督:ドゥニ・ヴィルヌーヴ
2016年/アメリカ/116分/日本語字幕
提供:ムービーマネジメントカンパニー

10.2
SAT

TIME TABLE

13:10 開場
13:30 上映開始
16:10 上映終了



Film © 2012 Universal Studios.
ALL RIGHTS RESERVED
Artwork © 2013 Universal Studios.
ALL RIGHTS RESERVED

上映作品 02 レ・ミゼラブル

ヴィクトル・ユーゴーの傑作を壮大なスケールで映画化した、
ミュージカルの金字塔。

19年間服役したジャン・バルジャンは、仮出獄後に再び盗みを働いてしまう。そんな彼の罪を見逃してくれた司教の優しさに触れた彼は、心を入れ替える決意をする。やがて運命の女性・ファンテーヌから愛娘・コゼットを託されたバルジャンはパリへ向かうが…。文豪ヴィクトル・ユーゴーの傑作を壮大なスケールで映画化した本作は、ほぼすべての曲を撮影の際にライブ録音し、本編で使用。喝采を浴び続けるミュージカルの金字塔を、息づかいまで繊細にお届けします。

監督:トム・フーパー
2012年/イギリス/158分/日本語字幕
提供:ムービーマネジメントカンパニー

Profile



【樋口泰人】(映画・音楽評論家、爆音上映プロデューサー)

1957年山梨県生まれ。『キネマ旬報』『エスクァイア』『スイッチ』『スタジオボイス』など批評やレビューを執筆。90年代は『カイエ・デュ・シネマ・ジャポン』の編集委員、その後編集長を経て、ビデオ、単行本、CDなどを製作・発売するレーベル「boid」を98年に設立した。04年から、東京・吉祥寺パウスシアターにて、音楽用のライブ音響システムを使用している爆音上映シリーズを企画・上映。08年より始まった「爆音映画祭」はパウスシアター閉館後も、全国的に展開中。著書に『映画は爆音でささやく』(boid)、『映画とロックンロールにおいてアメリカと合衆国はいかに開けたか』(青土社)、編書に『ロスト・イン・アメリカ』(デジタルハリウッド)。最近の主な配給作品に『地獄の黙示録劇場公開版』『地球に落ちて来た男』『PARKS パークス』『DARK STAR/H・R・ギーガーの世界』『大和(カリフォルニア)』『遊星からの物体X(デジタル・リマスター版)』など。

10.2
SAT

TIME TABLE

16:30 開場
16:50 上映開始
18:25 上映終了



©1994 Co.,Ltd. All Rights Reserved

監督:村尾輝忠
出演:カネコアヤノ、林宏敏、本村拓磨、Bob
2021年/日本/90分
提供:1994 Co.,Ltd.

上映作品 03 カネコアヤノ Zeppワンマンショー-2021

今だから生まれたカネコアヤノ無観客ライブ。
配信時の音響が爆音上映用に再設計！

新型コロナウイルス感染拡大のため予定していたツアーが中止になり、その先がまだ見えぬ中の2月に行われた、カネコアヤノの無観客ライブ配信。『カネコアヤノ Zeppワンマンショー-2021 オンライン』と題されたその反響は大きく、もっと大きな画面で、もっと大きな音でという要望に応え、なんと爆音上映用に音響を再設計！自宅で観るのはまったく違う、今だから生まれた音が、まさに生き物(ライブ)として会場を包み込むことでしょう。



【カネコアヤノ】 弾き語りとバンド形態でライブ活動を行っている。2016年4月に初の弾き語り作品『hug』、2017年9月には初のアナログレコード作品『群れたち』を発表。2018年に発表したアルバム『祝祭』は第11回CDショップ大賞2019入賞作品に選出。2019年に発表したアルバム『燦々』は第12回CDショップ大賞2020大賞<青>を受賞。2021年4月14日に新作アルバム『よすが』を発表。5月から全国ホールツアーを開催し、7月からは全国6カ所で単独演奏会を予定している。

10.3
SUN

TIME TABLE

13:10 開場
13:30 上映開始
15:30 上映終了



©2019 HE LI CHEN GUANG INTERNATIONAL CULTURE MEDIA CO.,LTD.
GREEN RAY FILMS(SHANGHAI),CO.,LTD.

監督:ディアオ・イーナン
2019年/中国・フランス/111分/PG12
配給:ブロードメディア

上映作品 04 鷺鳥湖の夜

男と女、雨と夜、街と死。
様式美と新奇性に満ちた音響で送る傑作サスペンス。

2012年、中国南部。再開発から取り残された鷺鳥湖の周辺地域は、ギャングたちの縄張り争いが激化していた。揉め事から誤って警官を射殺し、全国に指名手配された裏社会の男チョウは、自身にかけられた報奨金を妻子に残すべく画策。しかし妻の代理という見知らぬ女と行動するうち、後戻りのできない袋小路に迷い込んでいくのだった…。ベルリン国際映画祭金熊賞を受賞した現代中国の鋭敏監督、ディアオ・イーナンによる傑作サスペンス。艶やかな様式美と新奇性に満ちた音響により、爆音映画祭の醍醐味と言える、映画に陶酔する体験をお送りします。

10.3
SUN

TIME TABLE

15:50 開場
16:10 上映開始
17:15 上映終了
～トーク開始

18:15 トーク終了

監督:富田克也
音楽:右左口竹の会、Suri Yamuhi And The Babylon Band、NORIKIYO
2019年/日本/62分
配給:空族
製作:全国曹洞宗青年会

上映作品 05 典座 -TENZO-

富田克也監督来場！ 上映終了後にアフタートークを行います。

空族×全国曹洞宗青年会。
富田克也最新作は仏教と3.11以後の日本のすがた！

僧侶である倉島隆行は3.11後に被災者となり、仮設住宅で暮らす身の上。瓦礫撤去の仕事や犠牲者の慰霊も続ける日々だが、津波で流された本堂の再建は諦めきれなく…。東日本大震災から10年。『サウダージ』『バンコクナイツ』の映像制作集団・空族が、震災後の現代日本における仏教の意義、信仰とは何かという問いに向かい合う。全国曹洞宗青年会の実際の僧侶たちが演じる本作は、フィクションとドキュメンタリーの枠を超え、驚くべき境地へとすすんでいく。第72回カンヌ国際映画祭の批評家週間「特別招待部門」選出。



【富田克也】 1972年、山梨県生まれ。脚本家・映画監督の相澤虎之助とともに映像制作集団・空族(くそく)を率い、「作りたい映画を勝手に作り、勝手に上映する」をモットーに活動。舞台となる土地で実際に生活を営む人々へ取材を綿密に行い、非職業俳優を積極的にキャスティングすることで、ストリートのリアリティをフィクションに差し込む。寂れゆく日本経済を背景に、肉體労働者、移民、そしてヒップホップをテーマに制作した『サウダージ』(2011)ではナント三大陸映画祭グランプリ、高崎映画祭最優秀作品賞、毎日映画コンクール優秀作品賞&監督賞をW受賞など数々の賞に輝いた。タイおよびラオスにて長期滞在制作を行った『バンコクナイツ』(2016)は、ロカルノ国際映画祭など世界中の約30の海外映画祭に招待。国内では、第72回「毎日映画コンクール」にて監督賞、音楽賞をW受賞。その年の「キネマ旬報ベスト10」では6位に選出された。そして最新作となる『典座 -TENZO-』が、2019年度のカヌヌ国際映画祭 批評家週間「特別招待部門」に選出。